専スポ新入部員による 部活拝見特集

〝タックル〟焦点に 5団体を紹介

体育会には45の部・同好会が存在し、各部が日々技を磨いている。スポーツはそれぞれプレーに特徴がある。走るスポーツ、投げるスポーツ、撃つスポーツ…。競技ごとに特徴がある中で、今回は体を張って相手にぶつかっていく、コンタクトプレーが魅力の5団体を特集する。特に〝タックル〟に焦点を当て、各部の主将に専スポの新入部員たちが魅力を聞いた。

相撲部

▶ 目標は団体戦ベスト4

一瞬の攻防、〝立ち合い〟が勝負

相撲部は1923年に発足し、90年には全国学生選手権（インカレ）の団体戦で優勝。元大関・武双山（現・藤島親方）、現役では前頭十二枚目の大道関（阿武松部屋）が同部出身だ。

この競技でタックルと言えば〝立ち合い〟。蒲田勝太主将（商4・専大松戸高）は「相撲は立ち合いが勝負を決めると言ってよいほど大事。観戦する時には一瞬の攻防、駆け引きに注目してほしい。重心の低さ、腰ごと相手に踏み込んでぶつけるスピード。さらに下から上へと相手の体を起こしていく迫力を感じてほしい」と魅力を伝える。

前期に行われた各大会では「上位大学や社会人との差を感じた。パワー、スピードともに劣っていた」と話すように、結果を残すことができなかった。しかし、「11月のインカレには最高の状態で挑む、目標は団体ベスト4」と力強い言葉を残した。

（真田　秦太・文1＝写真も）

ラグビー部

▲ 1部復帰を目指す部員たち（撮影＝尾島里美・文1）

創部80周年 モールを磨き2部優勝へトライ

ラグビー部は今年で創部80周年を迎えた。過去には関東大学リーグ戦で5回の優勝を経験。全国大学選手権には9回出場している。

ラグビーのタックルは、守備側がボールを持った選手の体を捕え、地面に倒し、相手の前進を防ぐプレー。ひざを着いた選手はボールを離さなければならず、ボール奪取の機会が生まれる。体を張り、骨のきしむようなタックルで相手の突破を防ぐのがラグビーの魅力の一つとなっている。

高木勲主将（商4・大阪工大高）は「相手を止めるために、無くてはならないプレー。みんな、ぶつかることは好きだと思う。特にマイボールにつながるようなタックルが決まった時が気持ちいい」と語る。

春のオープン戦は3勝4敗1分。目標は〝2部優勝、1部復帰〟だ。「オープン戦の結果に納得はできていない。リーグ戦では、強化されたフォワード陣、特にモールに注目してほしい」と話した。

（村上　大晃・文1）

アイスホッケー部

▲ 氷上で躍動する選手

練習＝試合、狙うはAグループ入り

氷上で繰り広げられるタックルが魅力といえば「氷上の格闘技」アイスホッケーだ。タックルは、ボディーチェックと呼ばれ、攻撃を防ぐ手段としてパックを持つ選手に対し、胸・肩・腰などで体当たりするプレーを指す。けがも多いが、金子大主将（経済4・日光明峰高）は「うまく決まった時は気持ちよい」と話す。小学校2年生からプレーを続けている金子主将には、高速でパックが飛び交い、激しいボディーコンタクトが交わされるこの競技に対する恐怖感はない。

アイスホッケー部は生田キャンパスから1時間以上離れた東大和市のリンクなどで、23時から翌1時まで練習している。決して恵まれた環境ではないが、「〝練習の練習〟にならないように、いつも試合を意識するように心がけている」と言う。

現在、関東大学リーグの1部Bグループに所属。「Aグループに入れるよう、入れ替え戦で勝つことが目標」と語った。（菅原　明彩・商1）

アメリカンフットボール部

▶ 秋季リーグは守備陣の奮闘に注目（撮影＝吉崎宇忠・商1）

低く、速く＋気持ちで止める爽快感

アメリカンフットボールの〝タックル〟は、守備側の選手が攻撃側のボールを持った選手の前進を阻止するために行う、ボディーコンタクトのことだ。逆に攻撃側が味方のボール保持者を守るために守備側の選手を阻むプレーを〝ブロック〟と呼ぶ。コンタクトプレーが多い競技のため、選手はヘルメットやプロテクターなどの装備をつけることが義務付けられている。

タックルについて、坂井洋介主将（経営4・駒場学園高）は「いかに低く、速いタックルができるかがポイント。気持ちを前に出して、相手を打ち負かせた時が最高の気分」と語る。

春季オープン戦は1勝5敗という結果で、「勝つことよりも、プロセスを大切に戦ってきたが、チームとしての余裕がなかった」と振り返る。9月から始まる関東学生リーグ戦に向け「同ブロックの強豪・日大、早大を打ち負かしたい」と静かに闘志を燃やす。

（林　裕太・法1）

レスリング部

▶ タックルの練習に励む選手

高度な技術で相手をコントロール

レスリングのタックルは相手を倒すためではなく、コントロールするためのものである点が他の競技とは異なる。体のどの部分を攻撃してもよいフリースタイルでは、ひざの裏を押さえることが基本で、その位置が高いほど相手は倒れない。速い動きの中で、低く相手を捕まえるには、高い技術が必要とされる。上半身のみで攻防が行われるグレコローマンスタイルでは、胴部へのタックルが戦略的にも重要となる。

桑原一直主将（経営4・秋田商高）は「ぶつかる以上、同じ階級でも力の差はあるので、体力、技術も大切だが、最後は〝相手に負けない〟という気持ちが大事」と語る。

フリー、グレコ両スタイルで戦える中村裕貴（商3・宮古商高）、浅田真司（経営4・星城高）、馬場貴大（経営2・島原高）の活躍が期待される。桑原主将は「練習でやっていないことは、試合でもできない。油断せずにいつも通りやる」と話した。

（葛西　千瑛・文1＝写真も）

国際大会出場選手

◇卓球部
劉　莉莎（商1・日南学園高）日本・韓国大学生交流戦（8月22～26日＝新潟県新潟市）

記録コーナー

第10回明治神宮崇敬会全国弓道大会・個人戦

吉田部長が四段・五段の部 準優勝

第10回明治神宮崇敬会全国弓道大会が7月17日、渋谷区の明治神宮武道場至誠館第二弓道場で開催され、個人戦四段・五段の部で弓道部の吉田治弘部長（法学部教授）が準優勝を果たした。

また、吉田部長は埼玉県連予選会の結果、さいたま市代表として10月に行われる「ねんりんピック2011熊本」の弓道大会にも出場する。

山下さん（平成17経済）がプロテスト合格

女子ゴルフ

日本女子プロゴルフ協会（LPGA）の2011年度プロテストが7月26日から28日まで、奈良県のグランステージゴルフ倶楽部で行われた。ゴルフ部出身の山下乃子さん（平17経済）が通算3オーバー、16位タイでホールアウトし、プロテストに合格した。

Sports カレンダー

◇卓球部
劉　莉莎（商1・日南学園高）日本・韓国大学生交流戦（8月22～26日＝新潟県新潟市）
◇全日本大学総合選手権（団体の部、7月19～21日＝東大阪アリーナ）女子＝ベスト16
◇アーチェリー部
▽関東学生個人選手権　8月25、26日（駒沢第一球技場）
◇剣道部
▽関東学生優勝大会　9月11日（日本武道館）
▽関東女子学生優勝大会　9月17日（東京武道館）
◇柔道部
▽東京学生体重別選手権　9月4日（日本武道館）
◇水泳部
▽日本学生選手権
【競泳】9月1～4日（横浜国際プール）
【水球】9月1～4日（相模原市総合水泳場）
◇相撲部
▽東日本学生相撲個人体重別選手権　8月28日（靖国神社）
◇漕艇部
▽全日本学生カヌー選手権　8月26～31日（石川県小松市木場潟漕艇場）
◇卓球部
▽関東学生秋季リーグ戦（男女）　9月5～13日（代々木第2体育館ほか）
◇バドミントン部
▽東日本学生選手権　8月26日～9月2日（北海道旭川大雪アリーナ）
◇ヨット部
▽関東学生個人選手権　8月20、21日（江ノ島）
▽関東学生女子秋季選手権　8月27、28日（同右）
◇レスリング部
▽全日本学生選手権　8月29日～9月1日（駒沢体育館）

関東大学アメリカンフットボールリーグ戦　1部Aブロック日程

9月	4日(日)	専　大ー明　治　大	14:00	アミノバイタル
	11日(日)	専　大ー国士館大	14:00	アミノバイタル
	24日(土)	専　大ー早稲田大	16:45	アミノバイタル
10月	8日(土)	専　大ー日　本　大	13:15	アミノバイタル
	15日(土)	専　大ー日本体育大	10:30	川崎球場
	29日(土)	専　大ー東　海　大	10:30	川崎球場
11月	12日(土)	専　大ー関東学院大	13:15	アミノバイタル

※アミノバイタル＝アミノバイタルフィールドの略。

関東大学ラグビーリーグ戦（2部）日程

9月	25日(日)	専　大ー朝　鮮　大	13:00	日　大
10月	2日(日)	専　大ー東　洋　大	13:00	熊　谷B
	16日(日)	専　大ー玉　川　大	12:00	野津田
	23日(日)	専　大ー白　鷗　大	12:00	日　大
11月	5日(土)	専　大ー立　正　大	14:00	熊　谷C
	13日(日)	専　大ー山梨学院大	14:00	拓　大
	27日(日)	専　大ー埼玉工業大	12:00	熊　谷B

※日大＝日本大学グラウンド、野津田＝野津田グラウンド、熊谷＝熊谷グラウンド、拓大＝拓殖大学グラウンドの略。